

次世代に向けた環境教育 サントリー「水育」中国でも活動開始

サントリーホールディングス（株）は、子どもたちに「水」の大切さを伝える独自の次世代環境教育プログラム、サントリー「水育」を9月1日（水）から新たに中国で展開します。

サントリーグループは、「水と生きる」ことをステークホルダーとの約束と位置付け、グループ全体で共有する「水理念」のもと、自然環境の保全・再生活動など、水に関わるさまざまな取り組みを、グローバルに推進しています。「水育」は2004年から国内で、2015年3月には、海外初となるベトナムでも開始し、参加した児童や教員、地元行政からも大変高い評価をいただいています。

アジアは、水の衛生や水資源においてさまざまな課題を抱えているエリアです。水の大切さや価値の共有をはかることにおいて優先順位の高いエリアと位置づけています。海外ではベトナム・タイ・インドネシア・フランスに続き中国にも拡大します。

●中国での「水育」について

グループ会社のサントリー（中国）ホールディングス社や、地元公益団体上海市ボランティア基金会の協力のもと、上海市内の小学生（3～4年生）を対象に実施。2022年6月までに約6,000人に参加いただく計画です。水の大切さや衛生管理、水源保全の重要性などについて学習するプログラムを展開します。水に関する一般知識や節水の習慣を身に付けること、「都市の水はどこからきてどこへ行くのか？」など地域に合わせた内容で、実験や動画も交えながら、中国の子どもたちに自然のしくみや水の大切さを伝えていきます。

▼「水育」について

<https://www.suntory.co.jp/company/csr/activity/environment/eco/education/>

水と生きる **SUNTORY**

以 上

「水と生きる」は、私たちがお客様や社会と交わす約束です。
貴重な水を守り、水を育む自然環境を次世代につなぐこと。商品やサービスを通じて人々の心を潤すこと。
水のように柔軟に力強く新たな価値創造に挑戦すること。
これらの約束を果たすため、私たちは様々な活動に取り組んでいます。